

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2016年48週の県全体の定点当たり報告数は、47週の2.79から増加し4.01となった。過去4年の同時期と比較し多い。季節変動性があり、冬から春にかけて患者が増加する¹⁾ため、今後の流行状況に注意が必要である。

保健所別では、16保健所中15保健所管内で増加し、夷隅(10.00)、柏市(8.78)、船橋市(7.45)、山武(6.67)、長生(5.25)、香取(5.00)、印旛(4.75)が多い。

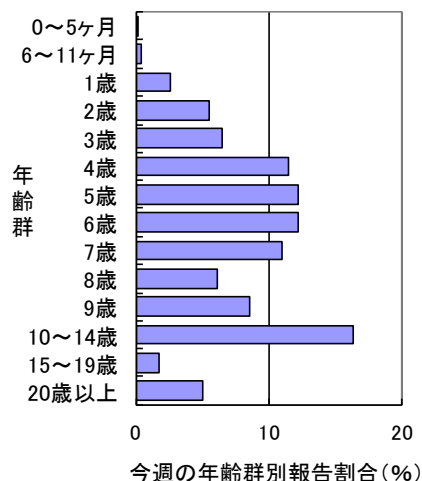
2016年48週に報告された538例の性別は、男性290例(53.9%)、女性248例(46.1%)で、年齢群別では、4～7歳が253例で47.0%を占めていた。

<参考>

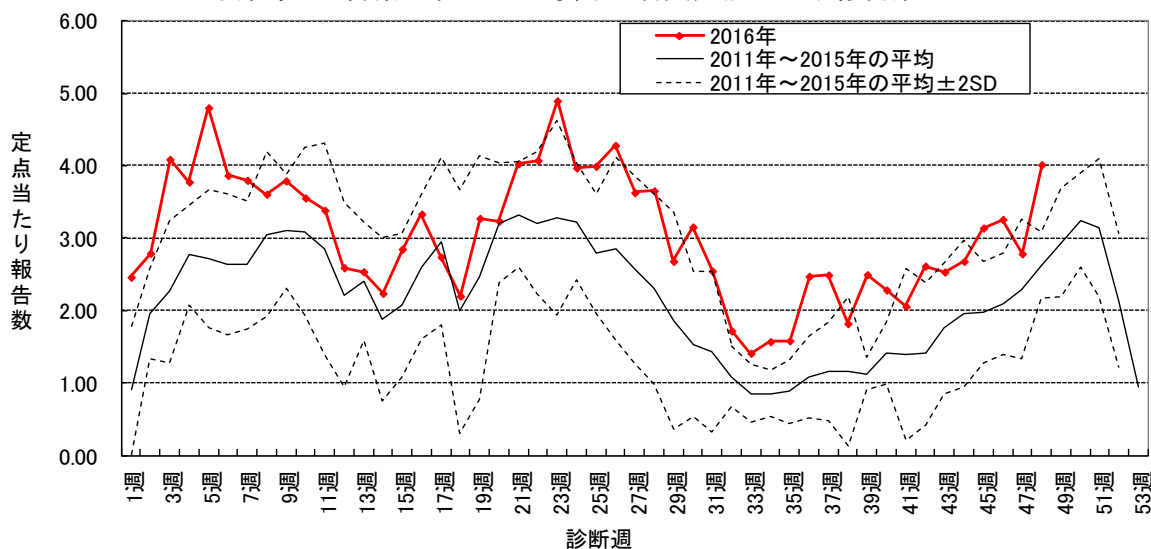
1) 病原微生物検出情報(IASR) 溶血性レンサ球菌感染症 2012年～2015年6月

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-iasrtpc/5843-tpc426-j.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



千葉県のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎定点当たり報告数



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

